



日本マンガ学会

九州マンガ交流部会

第52回
例会

2018年1月26日 15:00-18:00

筑紫女学園大学 6号館 6101教室

818-0192 福岡県太宰府市石坂 2-12-1

参加費無料

懇親会：部会終了後

問い合わせ先：大城秀美 (fogi@chikushi-u.ac.jp)

＜ロン・スチュワート＞(広島県立大学)

タイトル: ホワイ・カートゥーン? —コマ政治漫画研究の魅力

概要: 本発表では、政治漫画(political cartoons)とは何かを検討し、世界で広く研究される対象として、政治漫画はどう見なされているかを概観する。明治時代における国境を越えた政治漫画家の交流から、最近のトランプ大統領の風刺までの私の研究を紹介し、政治漫画とその研究の魅力を伝える。

＜米村典子＞(九州大学)

タイトル: デザイナーになりたい! —少女雑誌と「洋裁文化」

概要: 少女雑誌の記事、読者の投稿した「スタイル画」、ファッションに関連するマンガなどを通して、1950年代後半から1960年代の少女にとり「洋服をデザインする」とはどういうことだったのかを明らかにし、少女と消費文化について考察する。

＜坂口将史＞(九州大学)

タイトル: 「ヒーローマンガとしての『美少女戦士セーラームーン』」

概要: 少女マンガ「美少女戦士セーラームーン」について、掲載誌『なかよし』におけるアクションマンガの系譜を概観し、作中でいかなる「正義」と「悪」が描かれたのかについて分析する。これらを通して「美少女戦士セーラームーン」が「ヒーローマンガ」全体において果たした役割の検討を行う